

特 別 活 動（ホームルーム） 指 導 案

題材名「自らの課題に目を向け、よりよい進路選択を目指そう！」

令和6年10月24日（木） 第1・2校時（9:00～10:50）

第2学年（普通科）

指導者 鳥居 紘子

I 題材の構想

1 題材観

高等学校学習指導要領（平成30年告示）第5章 特別活動 第2 各活動・学校行事の目標及び内容〔ホームルーム活動〕2内容（3）一人一人のキャリア形成と自己実現の「主体的な進路の選択・決定と将来設計」とある。これは、高等学校キャリア教育の手引き（文部科学省）において、キャリア教育で育成すべき力の一つである「課題対応能力」の育成に注力した題材となっている。

これまでの研究協力校の進路指導から、進路選択について漠然とした課題感をもっているものの、課題感を明確にできていない生徒が散見している現状がある。

研究協力校では、重点目標の一つとして「主体的に考える力―課題に気づき自分の頭で考える―」がある。また、進路指導の目標として2学年の目標の一つには「『自分の生き方』を実現できるような具体的な進路について考え、その実現のために情報を入手し、課題を発見できるようになる」となっている。

このような目標や現状から、生徒にはより早い段階から進路選択を意識し、自らの課題を発見しその要因を考えることで、解決に向けて行動がとれるようにする必要があり、よりよい進路選択に結び付けなければならないと感じている。さらに、この題材によって、仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力につながっていくと考える。

2 研究との関わり

研修先の株式会社ミツバは、自動車やバイクを動かすためのモーターに関わる製品を製造している企業である。多彩な教育制度が準備されており、新入社員から役員まで階層別教育が用意され、役職に応じて求められるスキルの習得と向上を図っている。

4月から人事部人材開発課に所属し、様々な研修を受けてきた。その中で繰り返し出てきたキーワードがいくつかあるが、特に印象に残っているものが「仕事＝作業＋改善」というものである。この「作業」は「働き」と「動き」に分かれる。「働き」は付加価値を生むが、「動き」は付加価値を生まない。そこで「動き」を「働き」に変える方策を考えるのが「改善」である。社会人には「動き」を「働き」に変えるためにはどんな課題があるのかを、常に考えながら日々の仕事を行っていく、それをどう改善していくかの考えることが求められる。

そこで、この考え方を基にして、まずは普段の学校生活の中で生徒自身が課題に気付けるようにし、研修で学んだ知識や手法を活用した授業を通して、生徒の課題対応能力を高めるきっかけづくりを行いたい。

3 題材の目標及び生徒の実態

	目 標	（生徒）の実態
思考力、判断力、表現力等	現在抱えている進路選択への漠然とした不安を明確にし、課題を見出す。	進路選択への漠然とした不安を抱えているが、その課題を明確にできていない。

4 評価規準

思考・判断・表現	進路選択に関する課題とその要因について表現でき、その要因を整理、分類することができる。
----------	---

II 本時の学習

- ねらい 自分が現在抱えている進路選択についての課題を明確にするための活動を通して、その手法を知り、学校生活における課題に目を向ける意識や、解決のための方策を考察する力を育む。

2 展 開

<p>主な学習活動 予想される（生徒）の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 研修先の企業・研修内容の紹介と本時のつながりを知る。</p> <p style="text-align: right;">（導入3分）</p> <p>○株式会社ミツバについて知り、研修内容について理解する。 ★プレゼンテーションソフトを活用する。 S：自分の課題は何だろうか。 S：特性要因図って初めて聞いたな。</p>	<p>○研修先の企業について興味をもって聞けるように、質問を投げかけながら説明をおこなう。</p>
<p>2 特性要因図の作成方法を習得する。</p> <p style="text-align: right;">（展開①38分）</p> <p>Step 1 ○特性要因図の作成手順と作成上の注意事項を聞く。 ○発表者を決めて、練習用のテーマをグループごとに選ぶ。 ○選んだテーマでグループごとに特性要因図を作成する。 ・要因を付箋に書き出す（一人五つ以上）。 ・ブレインストーミングで班ごとに要因を抽出して分類し、大骨を決める。 S：どんな要因を書くのかな。 S：要因ってなんだろう。 S：どのくらいみんな書くのかな。 ・大骨に向かって分類した要因を貼っていく ○特性要因図を共有する。 S：他のグループはどんなのができたかな。 S：みんなたくさん要因が出ているな。 ★タブレット端末で特性要因図を撮影、Google Classroomに投稿する。</p>	<p>◎要因を明確にするための手法としての特性要因図について説明する。 ○タイマーを使用し、効率よく作業できるように時間管理をする。 ○特性要因図を作成できるように、作成方法の手順をしっかりと確認するように促す。 ○テーマは与えられた選択肢から選ぶ。 ○要因の書き方を確認する。 ・主語と述語の短文で記入する。 ・例：〇〇が多い、〇〇がない ○「なぜなぜ」を繰り返して要因を抽出するよう助言する。 ※ブレインストーミングの原則の確認 ・批判は行わない ・アイデアは自由奔放に ・アイデアは量を求める ・他人のアイデアを発展・統合する ○大骨は三～四になるように、要因を分類するよう助言する。 ○よくできたグループの特性要因図を紹介する。 ○作成方法が理解できたか確認する。</p>
<p>○本日の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【本時の学習課題】（めあて） 自分が抱えている進路選択についての具体的な課題を考え、課題とその要因を明確にしよう。</p> </div> <p>3 特性要因図を用いて、グループワークで進路選択の課題を明確化する。</p> <p style="text-align: right;">（展開②35分）</p>	<p>◎特性要因図を活用する。</p>

<p>Step 2</p> <p>○「進路選択」をテーマに特性要因図を作成する。</p> <p>①付箋を用いて「進路選択」についての特性（課題）を考え、付箋に記入する。</p> <p>②グループで要因を共有し、ブレインストーミングを行い、要因をグループ分けする。</p> <p>③大骨（四つくらい）を決め、グループの関係性を大骨にする。（グループにあったタイトルをつける）</p>	<p>○自分が抱えている進路選択の課題について明確にするために、今困っていることや悩んでいることを書き出すように促す。</p> <p>○グループで共有しにくい要因を無理に書き出す必要はないことを伝える。</p> <p>○たくさんの要因を抽出できるように、思ったことをたくさん書き出すように助言する。</p>
<p>—————休憩—————</p> <p>④グループ分けした付箋を貼っていく。</p> <p>⑤大きな影響を与えていると思われる要因（原因）に○をつける。（二～三つ目安）</p> <p>⑥○のついた要因の解決策をグループで話し合う。</p> <p>★タブレット端末で特性要因図を撮影、Google Classroomに投稿し、解決策を入力する。</p> <p>○「進路選択の課題」の要因と解決策について発表を行う。</p> <p>S：グループのメンバーと協力できたな。</p> <p>4 生徒個人の「進路選択の課題」の特性要因図を作成し、解決策を考える。</p> <p style="text-align: right;">（展開③19分）</p> <p>①ワークシートに各自が特性要因図を作成し、自分の課題を明確にする。</p> <p>②各自が作成した特性要因図で明らかになった課題に対しての解決方法や対策を考え、ワーククラウドを活用して解決策を共有する。</p> <p>S：進路選択の課題の要因を言語化できたな。</p> <p>★Google スライド</p> <p>★ Google Classroom での課題提出</p>	<p>—————休憩—————</p> <p>○作成した特性要因図をタブレット端末を使って撮影し、画像をワークシートに挿入するように指示する。</p> <p>○いくつかの班にグループワークの成果を発表して課題を共有する。</p> <p>○グループワークで作った特性要因図を参考にして自分の要因を考えるように促す。</p> <p>○ 思いついた解決方法や対策といつから実行に移せそうかも合わせて考えるように促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>進路選択の課題の要因について明確に表現できている。＜ワークシート（思判表）＞</p> </div>
<p>5 本時の学習の振り返り</p> <p style="text-align: right;">（終末5分）</p> <p>○自分のワークシートを確認しながら、本日の振り返りについて話を聴く。</p> <p>S：明日進路室に行ってみようかな。</p>	<p>○本日の取組について、生徒の発表のよかったところなど、具体的に挙げて称賛する。</p> <p>○個人のワークシートの提出について指示をする。</p>

3 板書計画

授業ではプレゼンテーションソフトを使用。

本指導案に掲載されている商品又はサービスなどの名称は、各社の商標又は登録商標です。

Googleスライド、Google Classroomは、Google LLCの商標又は登録商標です。

なお、本文中には ™ マーク、 ® マークは明記していません。